

教員の養成に係る“教育の質の向上”に係る取組に関すること

(1) 千歳市内小中学校学習サポートボランティア事業

千歳市内小中学校が行う長期休業等の補充学習に学生ボランティアとして市内各小中学校へ学生を派遣し、当該学校の教員が作成した指導計画をふまえた児童・生徒への指導の補助を行う。補充学習を行う教科は、国語、算数・数学、理科、英語などの基礎・基本に関わる内容である。

この事業は、平成24年8月に千歳市教育委員会との覚書により始まったものである。参加学生は毎回60名程度である。

(2) 千歳市内の公立高等学校「学習ボランティア活動」事業

①北海道千歳高等学校「定時制課程」

「基礎学力向上」の目的で、「授業におけるTA」の役割をするものである。教科は1・2年生の「数学」を中心に、教職履修学生2～3名を毎週1日2時間派遣している。この事業は平成25年から始まったものである。参加学生は毎年2名程度である。

②北海道千歳北陽高等学校「全日制課程」

「基礎学力向上対策（1・2年生）」の補習（1期～4期）として、放課後学習支援として補習授業のTAをするものである。この事業は平成27年から始まったものである。参加学生は毎年2～4名程度である。

(3) 千歳市福祉課主催の「ちとせ学習チャレンジ塾」事業

千歳市内に住む子弟のうち、家庭等の事情により塾へ通うことができない子弟への学習支援事業である。対象は中学生や高校生で、勉強の質問や相談の相手をする。週に2回午後5：30～7：30の2時間、「千歳市総合福祉センター」で支援人の補助をするボランティアである。この事業は平成27年度から始まったものである。参加学生は毎年8名程度である。

(4) 教職課程研修会

現在、本学出身の教員は期限付き教員を含め、約30名となっている。平成30年度より本学在学学生を対象とした教職課程研修会を千歳市民文化センターで開催している。現場で実践している先輩教員の体験談や「これからの教員に期待すること」について北海道教育委員会の方より講話をいただき、卒業生・在学生にとって、貴重な研修の場となっている。